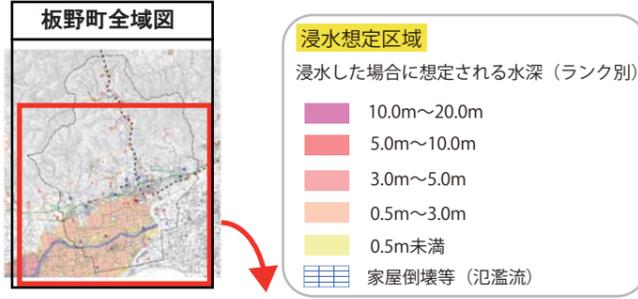


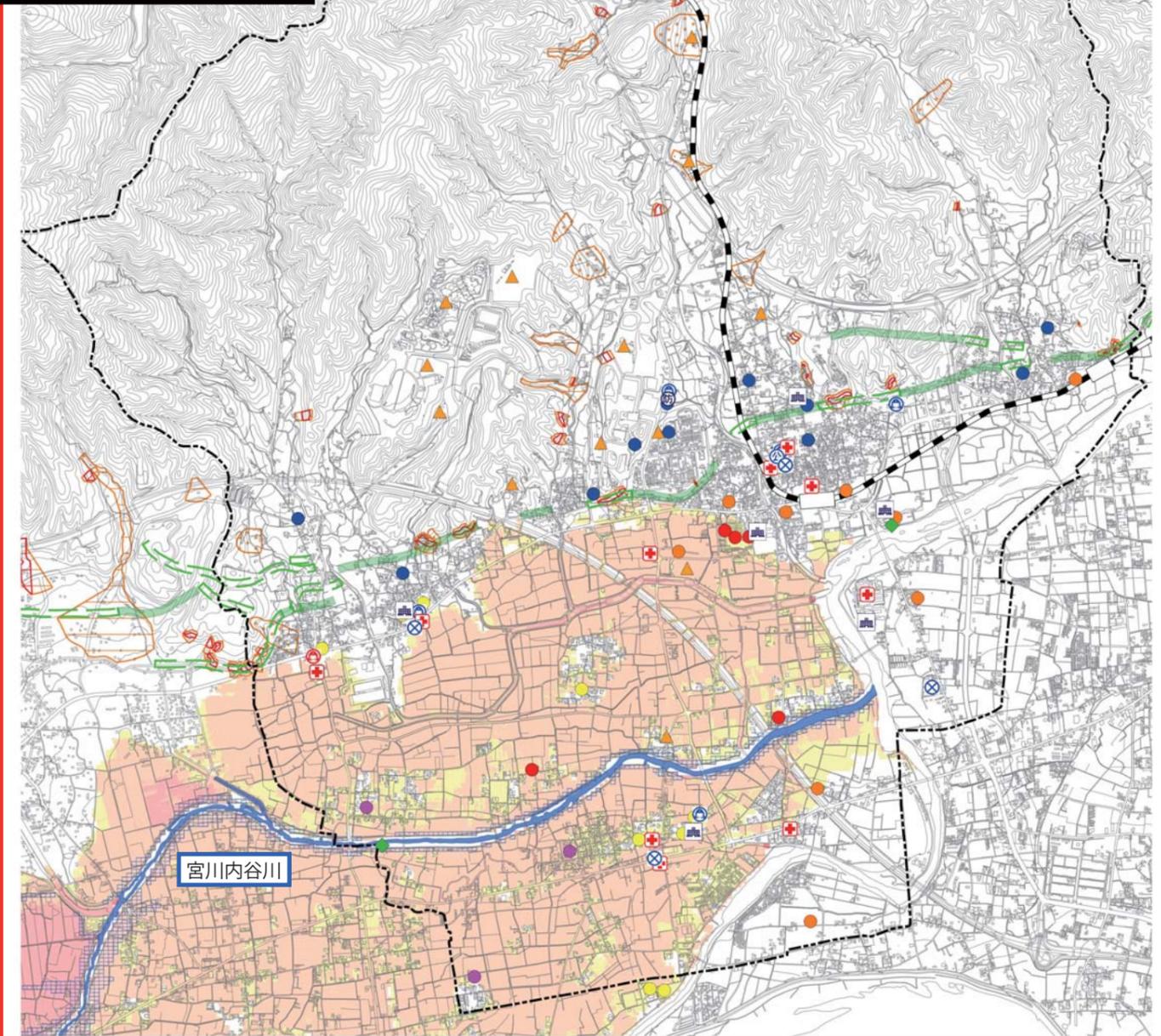
宮川内谷川 洪水浸水想定区域図

想定最大規模と計画規模の違い

宮川内谷川の氾濫による浸水想定区域は、概ね千年に1回程度発生する恐れのある『想定最大規模』と概ね五十年に1回程度発生する恐れのある『計画規模』の大雨の条件を基に、各所堤防の決壊や堤防が整備されていない区間が溢水した場合を想定し、それぞれを重ね合わせ、各地域において想定される最大浸水範囲と浸水深を色分けして示しています。



想定最大規模の洪水



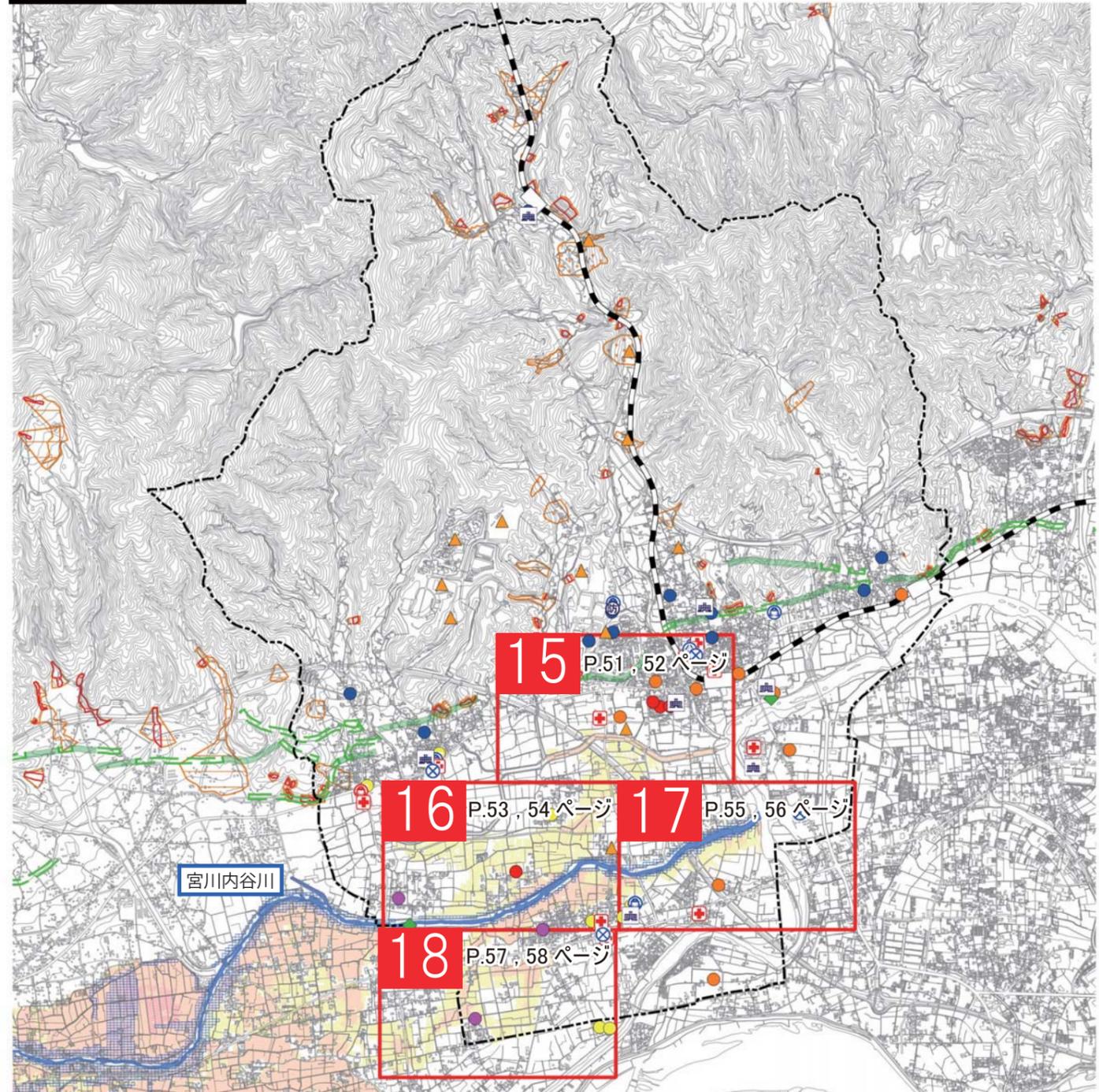
土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	役割情報	指定避難所・指定緊急避難場所
土砂災害特別警戒区域 (急)	土砂災害警戒区域 (急)	町役場	● 洪水時用
土砂災害特別警戒区域 (土)	土砂災害警戒区域 (土)	学校	● 吉野川洪水氾濫時は使用不可
活断層	土砂災害警戒区域 (地)	警察署	● 吉野川・旧吉野川洪水時は使用不可
特定活断層調査区域		病院	● 吉野川・宮川内谷川洪水氾濫時は使用不可
活断層の調査を推奨する区域		消防署	● 吉野川・旧吉野川・宮川内谷川洪水氾濫時は使用不可
		消防団	● 水位観測所
		水防倉庫	
		その他 (施設)	

宮川内谷川 図郭割図 (計画規模)

拡大図面の使い方

- ① 下の地図から、自分が住んでいる地域を含む番号を探します。
- ② その番号がついたページを開き、自分の家や避難所等の位置を確認します。
- ③ 家や学校、通学路等が洪水浸水想定区域に含まれていないか確認します。
- ④ もしもの時を想定し、近くにある避難所への避難ルートを確認します。(避難ルートは、図面に書き込みましょう)
- ⑤ 以上を参考にし、学校や家族で話し合いをしたり、避難訓練を実施したりして洪水や土砂災害等に備えましょう。

計画規模の洪水



縮尺 1/5,000